

# Irrationality Love ～組曲 仏陀～No.2

2011年 たちばな 橘 きりゅう 木竜

輝いた城の中  
消え見え消え 何かは響く  
胸を巻く過去の波  
湧き沸き立ち 声音を鳴らす

翔た時間は命突いて  
地位の差に速さは変わる  
東に老いて 南に病み  
籠の外 涙が満ち

生きて老いて病み死ぬ枷が  
この地位に霞まされて  
増した地位の禍かに身を濡らし  
闇まとい灯を閉ざした

愛の雨満ちた中  
影差し掛け 何かがよぎる  
欠けた先雨は落ち  
死が裂き断つ 母さんの愛

西に死の列撰理引いて  
命また等しく還る  
この身投げ出す愛に焼かれ  
枷の根が晒されてく

生きて老いて病み死ぬ枷が  
生き死にの愛にかさみ  
欠けた愛の差に身を浸し  
北に生き火を授かる

生きて老いて病み死ぬ枷は  
抱く地位と愛にかさみ  
兆し燃やし嘆きの道に  
血を交わし問い始めた